

授業科目	実践キャリアプランニング				単位	1		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10603J	
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP4-1			
担当教員	阪井 俊文							
授業概要	自分の将来の生き方について考え計画を立てること、いわゆるキャリアプランニングを的確に行うためには、「社会」について知ることが重要となる。現代社会がどのような課題や問題を有しているのかを理解すれば、それを解決するビジネスの需要が見えてくるであろう。もちろん、自分が問題の当事者になることを回避するための一助にもなる。本科目では、キャリアプランニングに?がるよう意識しながら、社会学などの知見を踏まえて、現代社会の特徴、社会問題の本質を考察する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我々が生活している現代の「社会」について、客観的な視点で考察できる。 2. 社会問題とされている事柄を深く考察し、自身のキャリアに役立てることができる。 3. 社会の問題や課題を踏まえた上で、それを解決するために自分ができることを考案する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合			70		30		100	
知識・理解 (DP1-1)			30		10		40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			40		20		60	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
現代社会のあり方について十分に理解し、その知識を自分のキャリアプランニングに活かすことができる。さらに、社会の課題を解決できるようなビジネスを創出する意欲にも繋げることができる。				現代社会が抱える問題・課題がどのようなものであるかを把握し、それを踏まえて自分のキャリアプランニングを考えることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	イントロダクション 自分のキャリアについて考える上で、「社会」について			講義		なし		

	の洞察力を高めることが重要であることを解説する。			
2	テーマ:新自由主義と福祉 政治のあり方と我々の生活の関係について考える。	講義	該当部分の復習	40
3	テーマ:消費社会化の進展 現代社会の基本的な特徴の一つである消費社会化について考える。	講義	該当部分の復習	40
4	テーマ:格差社会と貧困 格差についての実状を把握し、貧困問題の背景を考える。	講義	該当部分の復習	40
5	テーマ:グローバル化① 社会のあらゆる側面に影響を及ぼしているグローバル化という動向について理解する。	講義	該当部分の復習	40
6	テーマ:グローバル化② グローバル化が進行することの功罪について考える。	講義	該当部分の復習	40
7	テーマ:「観光化」の進展 日本では観光産業に重点が置かれるようになっているが、そのことの功罪を考察する。	講義	該当部分の復習	40
8	テーマ:恋愛と非婚化・晩婚化 非婚化・晩婚化が進んでいると言われていたが、その原因を女性のキャリアとの関連から考察する。	講義	該当部分の復習	40
9	テーマ:現代における「家族」 家族や結婚に関する制度や慣習について考える。	講義	該当部分の復習	40
10	テーマ:少子高齢化と介護 今後さらに進むと見られている高齢化について、介護の担い手の問題などを考える。	講義	該当部分の復習	40
11	テーマ:地域社会の変容 地域の繋がりの希薄化がもたらす問題を考える。	講義	該当部分の復習	40
12	テーマ:メディア社会・情報化社会 インターネットなどのメディアが高度に発達したことの功罪について考察する。	講義	該当部分の復習	40
13	テーマ:パワーハラスメント① パワハラとは何かを、社会的勢力という概念を用いて理解する。	講義	該当部分の復習	40
14	テーマ:パワーハラスメント② セクハラ、マタハラなど様々なハラスメントの特徴と防止策を考える。	講義	該当部分の復習	40
15	まとめ まとめとレポート課題の説明	講義	レポートの作成	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予備知識は特に必要としない。			
テキスト	使用しない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献は講義の中で適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から、新聞やニュースを見て時事問題を把握するよう努めてください。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容は講義の中で説明します。			